

日本比較文化学会

2024年 2月 No.67

JACC 比較文化会報

本部事務局：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 林裕二研究室内

会長室：〒803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1丁目3番5号

西南女学院大学 観光文化学科 八尋春海研究室内

学会HP：<http://www.hikakubunka.jp/>

《日本比較文化学会第46回全国大会・2024年度国際学術会議のお知らせ》

中部支部・大会実行委員長 樋口 謙一郎（椋山女学園大学）

2024年5月18日（土）、愛知県名古屋市の椋山女学園大学星が丘キャンパスで、日本比較文化学会第46回全国大会・2023年度国際学術会議が開催されます。

星が丘キャンパスは名古屋市内にあり、名古屋駅（JR・名鉄・近鉄）から市営地下鉄東山線で約20分の星が丘駅から徒歩圏内のところにあります。名古屋駅まではJR東海道新幹線などのほか、中部国際空港（セントレア）からも名鉄で一本です。御宿泊の方は、名古屋駅近隣のホテルをお選びいただければ、大きな荷物をホテルに預けたまま本学にお越しただけかと思えます。名古屋市内最大の繁華街である栄地区や、全国的に観光名所として有名な名古屋城も、地下鉄を利用すればアクセス至便です。

大会シンポジウムのテーマは「比較文化学と情報社会：AI時代の到来を踏まえて」です。AIの急速な発展と普及により、私たちの文化、社会、生活は前例のない変革を経験しています。AIの進展は、異文化間のコミュニケーションや異文化理解の促進に貢献する可能性を秘めています。AIを活用した言語処理や翻訳技術はことばの壁を取り払い、文化の違いを深く理解する手段となり得ます。また、AI技術の進歩が文化遺産の保護や伝承にも新たな道を開き、文化の多様性と持続性を確保する上で重要な役割を果たすことも考えられます。一方で、プライバシーの保護などの倫理的課題や、医療現場や自動運転へのAI活用に関する安全面への懸念も浮上しています。

比較文化学を異文化理解や文化変容を研究し、価値観や倫理観の違いがもたらす諸問題を乗り越えようとする学問と位置づけるならば、比較文化学とAI、さらにはこれからの情報社会との関係を把握し、その影響や意義を探究することは極めて重要です。

このたびの全国大会が、日頃様々な学術を討究する本学会会員が知見と洞察を共有し、議論を深める場となり、比較文化学の新たな使命、課題、方法、そして知的喜びを見出す機会になることを願っております。どうぞよろしく願いいたします。

《日本比較文化学会第46回全国大会・2024年度国際学術会議スケジュール》

中部支部・大会実行委員長 樋口 謙一郎（相山女学園大学）

来る2024年5月18日（土）に、愛知県名古屋市の相山女学園大学で日本比較文化学会第46回大会が開催されます。全国大会に国内外の研究者や専門家が集い、研究成果や実践事例の共有と意義深い交流が実現することを祈念しております。皆様のお越しを、心よりお待ちしております。

開催日程：2024（令和6）年5月18日（土）

会場：相山女学園大学 星ヶ丘キャンパス（愛知県名古屋市千種区星が丘元町17-3）

スケジュール（予定）

8:45 受付開始

9:10～9:50 総会及び理事会

10:00～10:15 開会式

10:15～11:45 シンポジウム

（テーマ：「比較文化と情報社会・AI時代の到来を踏まえて」）

13:00～14:00 講演

14:15～17:50 研究発表

17:50～18:00 閉会式

*理事会関係者会議

日時：2023年5月17日（金） 16:00～

会場：JR名古屋駅近隣会議室を予定

《支部報告》

北海道支部

*【お知らせ】北海道支部総会・研究発表並びに講演会

日程：2024年2月23日（金・祝）

場所：北洋大学（北海道苫小牧市）103教室

プログラム

1. 午前の部：10:30 から 会員のみ

支部総会（予算、行事など）

2. 午後の部：13:00 から 一般公開（事前申込必要なし、参加無料）

(1) 特別発表（情報提供）

株式会社 劉晟（りゅうしょう） 馮 彬部長

「技能実習生の今後の動向」

(2) 研究発表

陳 曦（北洋大学）「中国語学習歴のある日本語母語話者による中国語の方言の聞き心地の評価」

(3) (特別) 講演会

「メディアでひもとく英語の世界—朝日ウィークリーのコラムニストが語る効果的な言語文化的応用—」

倉田 誠（京都外国語大学外国語学部英米語学科教授）

Aaron Campbell (京都外国語大学国際貢献学部グローバルスタディーズ学科准教授)
辰巳 遼 (京都外国語短期大学キャリア英語科講師)
福嶋 剛司 (北洋大学国際文化学部キャリア創造学科専任講師)

支部長 奥村 訓代

東北支部

* 【お知らせ】 2023 年度東北支部総会・研究会開催 総会出席・研究発表募集のお知らせ

日時：2024 年 3 月 20 日 (水・祝)

・支部総会 11:00～ ・支部研究会 13:00～ (予定)

場所：戦災復興記念館 4 階・第 3 会議室 (〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町 2 丁目 12-1)

* 対面およびオンラインのハイブリッド形式にて開催

詳細は、本学会 Web ページ ⇒新着情報 ⇒東北支部ページをご覧ください。

支部総会を欠席の場合は委任状をご提出ください。

また、2023 年度東北支部会費の納入をお願いいたします。

支部長 高橋 栄作

関東支部

* 【報告】 第 59 回 関東支部例会

2023 年度の関東支部報告をさせていただきます。今年度も様々な研究発表をして頂き、発表者の方々には大変感謝しております。

日時：2023 年 10 月 1 日 (日)

場所：Zoom によるオンライン開催 (東京未来大学)

プログラム

1. 研究発表

- (1) 高橋 強 (東海大学) 「SDGs を意識した英語教育：グローバル学習 Value ループリックの観点から」
- (2) 陳 孟宏 (宇都宮大学大学院) 「音楽産業の地域社会への展開—2000 年代以降のロックフェスを事例に—」
- (3) 大江 平和 (お茶の水女子大学) 「『北平香山慈幼院院刊』からみる卒業生のゆくえ」
- (4) 王 亜東 (宇都宮大学大学院) 「「民族」という語の用法の日中における独自性」
- (5) 長田 元 (富山短期大学) 「みなとオアシスにおける地域振興の取組みについて—祭り・イベントを中心に—」
- (6) バトスヘ・ウヌビレグ (宇都宮大学大学院) 「モンゴルにおける NGO 活動の現状と課題 NGO アカウンタビリティ導入の事前条件について」

* 【報告】 第 60 回 関東支部例会

日時：2023 年 12 月 17 日 (日)

場所：Zoom によるオンライン開催 (富山短期大学)

プログラム

1. 研究発表

- (1) 高橋強（東海大学）「スポーツ英語教育に関する一考察」
- (2) 李 雪珍（宇都宮大学大学院）「中国の大学における日本語非母語話者教師の日本語母語話者教師との協働に対する期待」
- (3) 田中 則広（淑徳大学）「脱北者視点からの北朝鮮向け情報発信－「北韓改革放送」の事例を中心に－」
- (4) 高橋 暖（筑波大学大学院）「文学社会学の一試み：共同体の観点によるフランス心理小説の再検討」

* 【お知らせ】 第 61 回 関東支部例会

日時：2024 年 3 月 10 日（日）

場所：富山短期大学（対面と zoom のハイブリッド開催）

支部会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

支部長 高橋 強

中部支部

* 【報告】 日本比較文化学会第 13 回中部支部大会

日時：2023 年 11 月 26 日（日）

場所：Zoom によるオンライン開催（浜松学院大学）

プログラム

1. 研究発表

- (1) 那須野 絢子（常葉大学）「「耳なし芳一」から読み解くラフカディオ・ハーンのゴーストと『怪談』の意味」
 - (2) 呂 政慧（名古屋大学大学院）「清末の学校唱歌集と日本：辛漢の『中学唱歌集』を例に」
 - (3) 松家 鮎美（岐阜薬科大学）「EFL 学習者の英語ディスカッションを通じた意識の変容」
 - (4) 白鳥 絢也（常葉大学）「教育課程の変遷を見つめる その 4－「学習指導要領」（昭和 33・43・52 年度版）に着目して－」
 - (5) 田島 喜代美（常葉大学）「海外につながる高校生の文化的アイデンティティを考察する－ダバオ市と浜松市の教育機関の連携による海外オンライン協働学習（COLP）の導入」
 - (6) 津村 公博（浜松学院大学）「海外につながる高校生の卒業後の進路について－文化資本の視点から」
 - (7) 二村 洋輔（至学館大学）「「現地人」と「原住民」のはざままで：井伏鱒二の南方徴用体験考」
 - (8) 樋口 謙一郎（椋山女学園大学）「米国立公文書館における米軍政期南朝鮮（1945-1948 年）の言語政策関連資料について」
- ### 2. 座談会：「中部支部のこれからと全国大会に向けて」

* 【お知らせ】 令和 5 年度・中部支部例会

日時：2024 年 2 月 25 日（日）13:00-17:00

場所：梶山女学園大学

- ・「総会」及び「自由研究発表」を行います。対面+Zoom開催を予定しています。発表申込数により、時間帯を変更する可能性もあります。
- ・開催案内及び発表募集などは、作成後にウェブサイトで告知しますので、そちらをご確認ください。

支部長 白鳥 絢也

関西支部

*【報告】関西支部10月例会

日時：2023年10月28日（土） 14:00-16:45

場所：同志社大学今出川キャンパス 良心館407教室・408教室

プログラム

1. 研究発表（14:00～16:45）

・（良心館407教室）

- (1) 王 滢鵬（大阪大学大学院）「2018年の入管法改正の成立をめぐる国会答弁の批判的談話研究」
- (2) 王 子涵（同志社大学大学院）・山内 信幸（同志社大学）「日本語翻訳本の翻訳普遍性に関する一考察—魯迅の『呐喊』の日本語翻訳本に焦点を当てて—」
- (3) 佐古 恵里香（流通科学大学）・山内 信幸（同志社大学文化情報学部教授）「オンラインツールを採り入れた対面授業デザインに関する一考察—大学初年次留学生を対象としたアンケート調査の分析—」

・（良心館408教室）

- (1) 韓 淑花（大阪大学大学院）「芥川龍之介『袈裟と盛遠』における中国語訳—〈自我〉の喪失を軸に—」
- (2) 末澤 奈付子（京都橘大学）・ハウエルズ聡子（京都橘大学）「オンライン留学と現地留学における英語学習者の一考察：満足度と学習方略の使用差異」
- (3) 塩田 英子（龍谷大学）「意味のない文字、音のない文字：絵心経とカイダー字の相違を例に」

2. 講演（16:00-16:45）

山内信幸先生（同志社大学文化情報学部教授、同志社大学日本語・日本文化教育センター所長、同志社大学グローバル教育センター所長）

「教育と研究のダイナミズム—今日できないことは明日もできない?!」

*【報告】九州支部、中国・四国支部、関西支部3支部合同例会

日時：2023年12月16日（土）13:00-17:00

場所：同志社大学今出川キャンパス 扶桑館103教室・104教室

プログラム

1. 研究発表（13:00-16:10）

・（扶桑館103教室）

- (1) 楊 丹（広島大学大学院）「世代性の視点からみる『高齢者の生きがい感』の構成要素：孫育て活動の3事例を通して」
- (2) 國友 万裕（同志社大学）「インセル時代の男たち—弱者男性で読む日米映画」
- (3) 佐藤 慶治（鹿児島女子短期大学）「1950-60年代の『新しいこどもの歌』楽曲の流布に関する比

較研究」

(4) 中村 友紀 (関東学院大学) 「『蜘蛛の巣城』とクライテリオン2バージョンの字幕の比較: ローコンテキストのケースについて」

(5) 林 裕二 (西南学院大学) 「大学での英語教育の軽減化の提案」

(6) 岩松 文代 (北九州市立大学) 「『竹取物語』のかぐや姫は、なぜ求婚を拒否せざるを得なかったのか—竹の生態と自然の摂理からの考察—」

・ (扶桑館 104 教室)

(1) 山本 茉莉 (同志社大学大学院) ・ 山内 信幸 (同志社大学文) 「it の「状況 (環境)」表現と「コ・ソ・ア」系の指示表現についての 1 考察—「舞台設定機能」に着目して—」

(2) 前田 葵 (京都大学大学院) 「Experiential Learning through Study Abroad Programs in Japan: A Case Study of Model UN Sojourn Program」

(3) 山元 庸子 (元九州大学大学院) 「外国人介護技能実習生の定着プロセスに関する研究—日本語学習支援と生活支援に着目して—」

(4) 大谷 鉄平 (北陸大学) 「雑誌記事見出しに用いられるカタカナ類語—「ブーム」と「トレンド」について—」

(5) 栢山 剛 (鳥羽商船高等専門学校) 「太平洋戦争勃発前における重光葵の外交政策—上海事変から戦艦ミズーリ号での降伏文書調印まで—」

2. 講演 (16:20-17:00) (扶桑館 103 教室)

中川久公先生 (京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師) 「朱印あれこれ—神社の社頭にて—」

3. 関西支部総会 (17:00~17:10) (扶桑館 103 教室)

1. 2022-2023 年会計決算

2. 2023-2024 年会計予算

3. 2024-2026 年支部役員人事

4. その他

* 【お知らせ】 関西支部 3 月例会

日時: 2023 年 3 月 9 日 (土) 13:00-17:00

会場: 同志社大学今出川校地 (弘風館 41 教室・49 教室)

支部長 山内 信幸

中国・四国支部

* 【お知らせ】 2023 年度中国・四国支部総会

日時: 2024 年 2 月 27 日 (火) 15:30-

場所: Zoom によるオンライン開催

支部総会について、詳しくはメールにてご案内しておりますが、出席される方は **2月20日(火)までにご連絡ください**。アドレスは garagonokaoka あっとまーく icloud.com(あっとまーくを@に置き換えてください) です。また、支部の連絡は主としてメールにておこなっています。

2023 年 12 月 8 日に三支部合同研究発表会(12 月 16 日・関西支部)のプログラムをお送りしていますが、受け取られていない方はこちらにアドレスの登録がない可能性が高いです。思い当たる方は

学会 HP の「会員サービス」→「問い合わせ」→「入退会・会員情報変更について（あゆみコーポレーション）」のフォームよりご連絡をお願いいたします。

支部長 轟木 靖子

九州支部

*【お知らせ】第36回九州支部大会

日時：2024年2月17日（土）

場所：西南女学院大学

プログラム

1. 研究発表

- (1) 篠原 征子（西南女学院大学）『礼記』昏義篇からみる結婚式・披露宴の意義
- (2) 武富 利亜（近畿大学）「映画で描かれる人間と AI ロボットの変遷—2000 年から現在」
- (3) 矢島 真澄美（東北学院大学）「イタリア系英国人写真家フェリーチェ・ベアトの風景写真—光の表現を中心に—」
- (4) 池田 祐子（中村学園大学）「e-learning を用いた英語学習 4 年間の実践報告」
- (5) 長野 綾子（福岡県立福岡魁誠高等学校）「リテリング活動と SEL の統合のエビデンスと実践」
- (6) 岩松 文代（北九州市立大学）「平安時代以前の日本には、どのように竹が生育していたのか—文字記録に着目して—」
- (7) 佐藤 慶治（鹿児島女子短期大学）「NHK「みんなのうた」の源流についての比較研究」
- (8) 石井 智子（鶴岡工業高等専門学校）「近代日本におけるノンエリート教育の展開—新渡戸稲造の場合—」
- (9) 大谷 鉄平（北陸大学）「BCCWJ におけるカタカナ語「ブーム」の様相—雑誌記事見出しとの比較を中心に—」
- (10) 野口 周一（郡山女子大学）「下村湖人著『次郎物語』第 5 部のモデルをめぐって—大河無門について（1）—」
- (11) 林 裕二（西南女学院大学）「イシグロ・カズオ「The Remains of the Day」のクライマックスについて」
- (12) 猪熊 慶祐（水産大学校）「ヴォードヴィル化する minstrel show—クリスティ・ミンストレルズの『オセロ』を例に—」
- (13) 三成 清香（島根県立大学人）『モモ』における時間の変化—時間を盗まれなかった者に注目して—」
- (14) Ghada Abdelkareem（久留米大学）「アラブ現代詩に於ける広島イメージ」
- (15) 王 紫玉（山口大学大学院）「黄檗宗が伝えた関羽像の受容について—彫刻と絵画を中心に—」

支部長 八尋 春海

《事務局からのお知らせ》

事務局長 林 裕二

○**会員情報更新のお願い**：住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には、忘れずに会員調査書（＝入会申込書）に新情報をご記入の上、会員調査書送付先アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

＜日本比較文化学会 ウェブサイト 入会・会員情報変更＞

http://hikakubunka.jp/?page_id=97

＜入会申込書・会員調査書送付先＞ あゆみコーポレーション（業務委託先）

hikakubunka [アットマーク] a-youme.jp

○**会費納入のお願い**：会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。2年以上未納（学生会員については1年以上）の場合には会員資格を失うこととなりますのでご注意ください。支部会費については、本部事務局ではなく、担当支部への問い合わせをお願いします。支部の運営については、各支部で定めております。

＜会費振込情報＞ 郵便振替口座番号：02570-6-8921 加入者名：日本比較文化学会
振り込みの際には、氏名、所属支部と何年度分の会費であることを明記してください。